

松本藩領二大一揆 『赤衰騒動』から 2000年

令和8年

11月7日 土

令和9年

1月31日 日

入場無料

9:00~17:00

1階企画展示室

[休館日] 月曜日・11月24日(火)・12月28日から翌1月4日 ※11月23日は開館

じょうきょう ぎみん

貞享義民記念館

〒399-8101長野県安曇野市三郷明盛3209

TEL.0263-77-7550

松本藩領二大一揆『赤蓑騒動』から200年

200年前、この地域で何が起きたのか—

白馬の四ヶ庄を発端として、現在の大町・池田・穂高・豊科など、安曇郡全域へと広がった大規模な一揆「赤蓑騒動」は、「貞享騒動」と並ぶ松本藩の二大一揆として知られています。

文政8年（1825）旧暦12月14日に始まった騒動の背景には、凶作による暮らしの困窮や年貢の問題、米の流通や商いへの不満など、当時の村々が抱えていたさまざまな事情がありました。村人たちが各地で行動を起こすなか、騒動は次第に勢いを増していきました。

「赤蓑騒動から200年」の節目となる本企画展では、当時の古文書を中心に、騒動の発生から収束までの経過を紹介します。各地区に残された記録をたどりながら、地域ごとの動きや騒動に関わった人々の姿を読み解き、赤蓑騒動の全体像に迫ります。また、赤蓑騒動と貞享騒動を、それぞれの時代背景や経過、参加した人々の立場や役割などからあらためて比較し、二つの一揆の特徴と、松本藩領の歴史における意味を探ります。

200年前、この地域で起こった「赤蓑騒動」。史料をひもときながら、その実像と、そこに生きた人々の姿を見つめます。ぜひご覧ください。



『赤蓑談 巻一・巻二・巻三』 高橋家文書



『冬の冬騒動日記』 大日向家文書



『四ヶ条より押来り候騒動之一件』 務台家文書



『赤蓑談(写本)』多湖家文書
背景画像:同資料より一部

関連企画

講演会「騒動記に登場する安曇野の人たち」

赤蓑騒動を記した古文書には、当時の安曇野に暮らしたさまざまな人々が登場します。登場人物に注目しながら、赤蓑騒動と安曇野との関わりをひもとき、そこから見えてくる知られざる人々の姿や地域の一面に迫ります。

日時 11月23日（月・祝） 13:30～15:30
講師 太田 秀保 氏（塩尻市文化財保護審議会委員）
会場 貞享義民記念館 1階ホール
定員 60名（先着順） **参加費** 無料 **申込み** 不要

赤蓑騒動旧跡巡り

騒動の発端の地・白馬村を出発し、大町市・安曇野市に残るゆかりの史跡をバスで訪ねます。現地に立ち、200年前の人々が歩いた道や騒動の舞台をたどりながら、赤蓑騒動の歴史を身近に感じてみませんか？

日時 11月28日（土） 8:30～17:00
講師 太田 秀保 氏 **集合解散** 安曇野市役所
定員 30名（先着順） **参加費** 600円 ※昼食自由（各自）
申込み 10月27日（火）から要電話

表背景:『赤蓑談』巻一・巻二・巻三(高橋家文書)より一部 イラスト:武田光弘(『赤蓑談』大町市立仁科台中学校社会科発行)



貞享義民記念館

申し込み・お問い合わせ

TEL. 0263-77-7550

〒399-8101

長野県安曇野市三郷明盛3209

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/gimin/>

常設展は別途一般 310円 / 団体 20名以上 200円

※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方と介助者

1名・70歳以上の安曇野市民は無料

